

創立 30 周年記念特集号として、最近の活動状況を写真でお知らせいたします。

V協ハイキング (通称 V協ハイク)



V協ハイクはボラ協のメイン事業。第 28 回は梅田青少年野外活動センター、第 29 回は黒保根町交流促進センターで実施。これまでに桐生ケ岡公園をはじめ足尾（銀山平公園）、大間々（小平の里）東（運動公園・黒坂石）、黒保根（利平茶屋）、足利（松田ダム・名草）、大胡（フラワー牧場）、赤堀（せせらぎ公園）、伊勢崎（華蔵寺公園）太田（こどもの国）そのほか多くの場所へ普段乗る機会のない JR、上電、東武、渓鉄の鉄道やマイクロバス等を利用して、実施してきました。参加された皆さんそれぞれの「で愛・ふれ愛・たすけ愛」は大きな輪（和）となっています。

ふれ愛フェスティバル



桐生市保健福祉会館及びJR桐生駅北口広場を会場（ねんりんピックの時は相生運動公園）に、ボラ協の「ふれ愛フェスティバル」単独の実施で市民の方から親しまれてきましたが、途中から桐生市の「けんこうまつり」との二枚看板の共同開催（今年で14回及び8回）で、さらに来場者の幅が広がり、保健・福祉・医療のイベントとして定着してきています。



市長とボランティアの集い

ボラ協構成各団体の活動を通じての行政への政策提言を年1回実施。市長から“今後は2回位実施してはどうですか”との提案をいただきました。



ボランティアの派遣

福祉施設や団体からの依頼によりボランティアを派遣して依頼先の要望に応じている。



桐花園納涼祭で模擬店を実施するボランティア

災害ボラ派遣・防災の研修

神戸・東灘区仮設住宅（阪神淡路大震災）への炊き出し支援が最初。以後、日本海重油流出事故、新潟県豪雨災害、中越・中越沖地震、能登半島地震への片付け・炊き出しボラ派遣や仮設住宅支援。災害時のボランティアセンターの立ち上げ訓練や防災の勉強会。



07.11.18 広沢町間の島第1町会自主防災会の協力による訓練



みやま園へ訪問して、昼食サービス（カレー・ラーメン・焼きまんじゅう）をするボランティア。

（その他）

「市民文化会館と遊ぼう」に参加出店して賑わい創出に貢献している

活動資金づくり

V協ハイキング、災害ボラ派遣・支援、依頼ボランティア派遣等の活動資金づくりのために、うまいもの市を実施しています。



08.11.16 雨天の中 16 区自主防災会の協力による訓練（開会の様子）



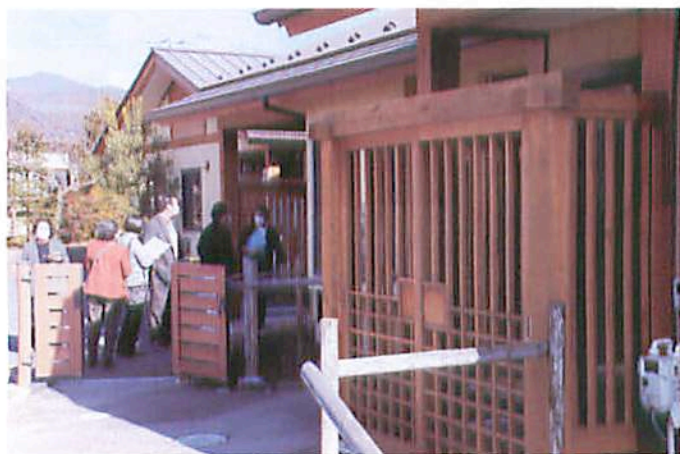
本町4丁目ジョイタウン広場のうまいもの市

講演会・研修会

構成団体会員相互の勉強や研修のために先進地の視察や専門家による講演会の実施。



2007年 船橋イリーゼ シルバーリビングで説明を受ける参加者



2008年 上田市真田町「地域拠点居宅施設」を視察する参加者（アザレアンさなだ）を本部施設として、「通い」「泊り」「訪問」の各機能を組み合わせた小規模多機能型居宅介護サービスとサテライト型居宅施設で「住み慣れた地域で安心して暮らしたいと願うそんな気持ちにお応えします」が原点だそうです。



「地域の防災を考える」—今私たちが取り組むべきことは—を講演する群馬大学大学院教授 片田敏孝先生

廃食油回収



2008.4.14 本町6丁目ハンディキャブ事務局で廃食油の回収を開始しました。ゴミの減量とバイオエネルギー化による環境保全及びゴミ排出意識の向上に貢献（開所式の様子）。

V 協農園



作業から収穫を喜び分かち合う共生社会のボラ協農園

役員会



定例役員委員会は毎月第2火曜日に開催。

（編集後記）

ボラ協は創立30周年。ボランティア元年といわれる阪神大震災は14年前。ボラ協の活動を支えている会員の皆さんに敬服します。

発行責任者	宮地 由高	編集責任者	新井 晴夫
発行所	桐生市広沢町1-2619-7		
☎	0277-55-0170	FAX	0277-70-6789